ご依頼・分析の流れ(まずはお気軽にお問い合わせください!)

温泉成分分析についてのお問い合わせ

分析内容等の相談・確認

現地へ採水に行く場合

採水日程の調整

現地出張

源泉状況や浴槽までの施設状況の確認 採水、現地調査・試験 持込による場合 (直接持込、宅急便送付など)

採水方法等の説明、容器の貸出し ご依頼者自身による採水

持参・宅急便等による試料の持込

試験室における検査

検査結果の集積・評価・検証

分析書の作成

ご依頼者様へ発送

↑温泉成分分析の場合

↓可燃性ガス濃度測定の場合

濃度測定結果書の作成

測定結果の確認

現地測定:付随ガス中濃度測定、分離の確認濃度測定、排出口濃度測定 その他必要な現地調査・施設設備確認

現地測定日程調整(可燃性ガス濃度測定は必ず現地にて実施します)

測定内容・現地状況などの聞取り確認

可燃性ガス濃度測定についてのお問い合わせ

<u> お願い(*1~3は成分分析、*4~7はガス濃度測定)</u>

- *1 浴場等へ掲示するために行う温泉分析(温泉分析書として発行する場合)は必ず、こちらより現地へ出向き採水します。(泉温・湧出量の測定、試験室へ持ち帰るまでに変化してしまう可能性のある成分の測定・現地処理を行います)
- *2 現地にて採水を行ってから(または持込により試料が届いてから)結果書がお手元に届くまで、およそ2週間程度必要です。他の分析の依頼状況にもよりますが、これより日数を要する場合もあります。又、できるだけ短期間で結果書をご希望の場合はご相談ください。
- *3 搬入(持込)試料による温泉分析の結果書には「資格の有無」・「泉質」の記載はできません。
- *4 測定時には、バルブの操作、配電盤の操作、鍵の開閉などの作業が伴うことがあります。破損等によるトラブルを避けるため、このような操作をできる方の立会・協力のもとで測定を行います。
- *5 源泉の状態によっては(特に動力揚湯の場合)前日もしくは当日の朝から準備(連続揚湯してもらうなど)していただくこともあります。営業等に支障が出る場合はご相談させていただきます。
- *6 源泉から利用施設までの配管・設備系統を把握する必要があります。系統図など拝見させていただくことがあります。
- *7 日常出入りしない源泉・貯湯タンク等のある屋内へ入ることは、安全確認済みの場合を除きお控えください。酸欠や 有毒ガス中毒の可能性があり大変危険です。また、貯湯タンク等のマンホールを覗く行為も同様です。さらに火気の ご使用にもご注意ください。